

RONIN-M

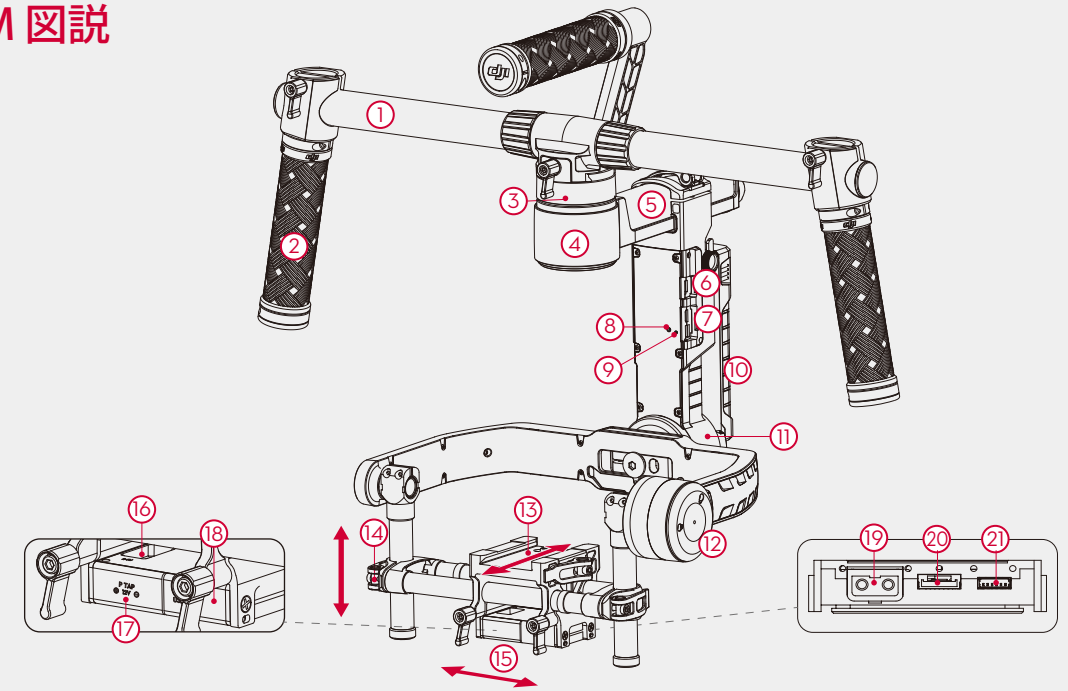
クイックスタートガイド

V1.6



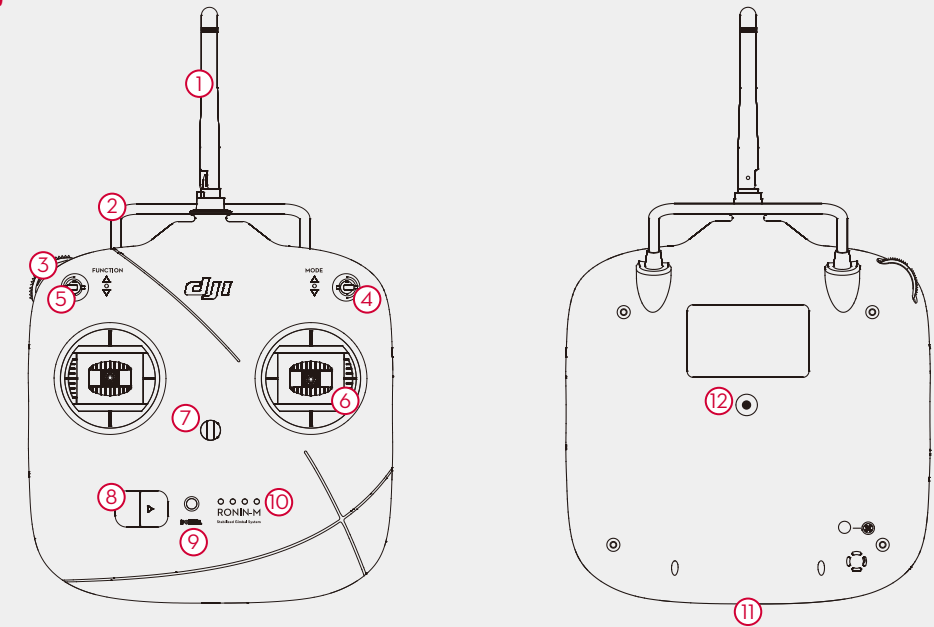
RONIN-M

Ronin-M 図説



- | | | |
|------------------|----------------------|-----------------------------|
| 1. トップハンドルバー | 8. バインドボタン | 15. ロール軸調整 |
| 2. サイドハンドル | 9. ジンバルLEDインジケータ | 16. IMUポート |
| 3. クイックリリースマウント | 10. DJIインテリジェントバッテリー | 17. P-TAP電源用ポート |
| 4. パン軸モーター | 11. ロール軸モーター | 18. USB電源用ポート |
| 5. パン軸調整スライダー | 12. チルト軸モーター | 19. P-TAP電源用ポート(背面) |
| 6. D-Bus受信機ポート | 13. 前後調整 | 20. DJI Lightbridge用ポート(背面) |
| 7. USBポート&CANポート | 14. チルト軸調整 | 21. GCUポート(背面) |

送信機 図説



- | | |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 1. アンテナ | 7. ネックストラップ取り付け用金具 |
| 2. 持ち手 | 8. 電源スイッチ |
| 3. 左ダイヤル(リザーブ) | 9. 電源インジケータ |
| 4. 3ポジションスイッチMODE切り替え | 10. バッテリー残量インジケータ |
| 5. 3ポジションスイッチFUNCTION切り替え | 11. バッテリー充電&RCアシスタント接続ポート(micro-USB) |
| 6. スティック | 12. リザーブポート |

RONIN-M

クイックスタートガイド

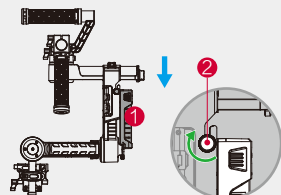
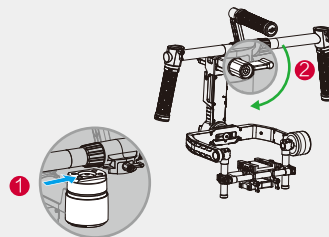
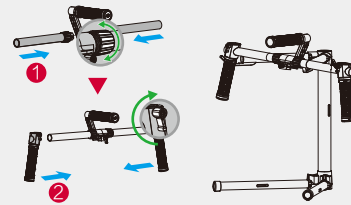
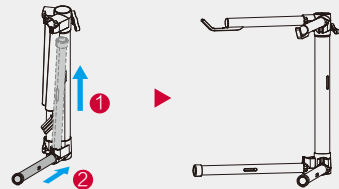
1 スタート

- A. DJI Assistant app をダウンロードします。
App store で“DJI Assistant”で検索し、インストールしてください。
Google Play にて“DJI Ronin”を検索してください。Android の指示に従ってインストールしてください。
- B. Ronin-Mを使用する前に、DJIインテリジェントバッテリーを充電してください。
電源ボタンを一度押すと、バッテリー残量が表示されます。
一度押してから再度長押しすることで電源が入ります。
- C. 送信機のバッテリー残量を確認します。電源スイッチを右にスライドさせると電源が入ります。
バッテリー残量インジケータにバッテリー残量が表示されます。
低電圧になるとアラートが鳴ります。充電にはUSBポートを使用します。
- DJIインテリジェントバッテリーについての詳細はユーザーマニュアルを参照ください。
 - モバイル端末:iOS 7.0 以上もしくは Android 4.3 以上。



2 Ronin-M の組み立て

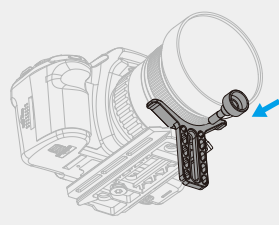
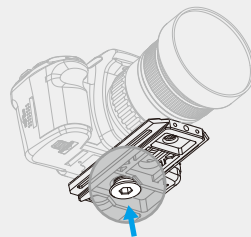
- A. チューニングスタンドの組み立て
下の脚部を垂直位置から広げ下部の穴に水平に差し込みます。上の脚部を垂直位置から広げ上部の穴に水平に差し込みます。
- B. ハンドルバーの組み立て
グリップのネジを締め付けることにより、トップハンドルの両側にハンドルバーを取付けます。ハンドルバーにグリップを取り付け、好ましい位置にグリップをロックします。ハンドルをスタンドへ載せます。
- C. Ronin-Mをハンドルへ取り付けます。
まっすぐジンプルをハンドルへ差し込み、ロックノブをきつく締めます。
- D. DJIインテリジェントバッテリーをRonin-Mへ取り付けます。
バッテリー両側面のネジを緩め、本体に沿わせてまっすぐ差し込みます。
落下しないようネジをきつく締めます。



組み立て中はバッテリーの電源を入れないで下さい。

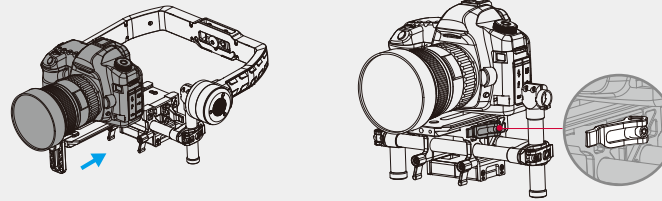
3 カメラをマウンティングプレートへ取り付け

- A. カメラをマウンティングプレートへ載せ、ネジをきつく締めます。
B. レンズサポートをマウンティングプレートへ取り付けます。
C. レンズサポートをレンズに強く押し当てた状態で、ネジをきつく締めます。



4 カメラをRonin-Mへ取り付け

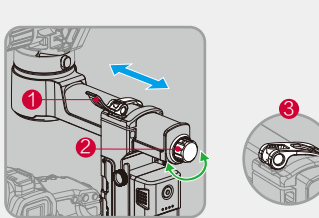
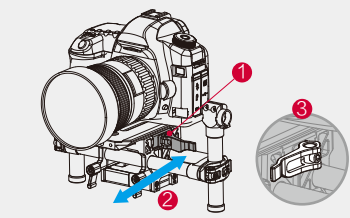
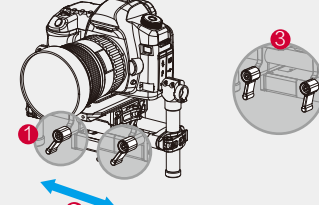
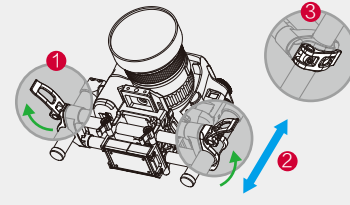
カメラをセーフティーロックに当たるまで差し込みます。カメラを前後に移動して大体のバランスを調整し、自然と前方や後方へ回転しないようにします。大体のバランスがとれたら、スライドクランプを締めてください。



Ronin-Mに搭載する前に、すべてのアクセサリをカメラに取り付けておいて下さい。

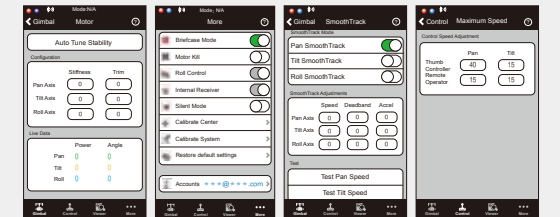
5 バランス調整

- A. チルト軸の調整
レンズを上に向け、2箇所クのクランプを緩めます。上下方向に移動させ、手を離してもカメラが自然に回転しないように調整します。調整できたらクランプを締めます。
- B. ロール軸の調整
2箇所のロックノブを緩め、カメラを左右にスライドさせます。手を離しても水平を保つように調整してロックノブを締めます。
- C. チルト軸の前後調整
スライドクランプを緩め、カメラを前後にスライドさせます。手を離しても水平を保つように調整してスライドクランプを締めます。
- D. パン軸の調整
①のクランプを緩め、②のノブを回転させて前後にスライドさせます。バランス調整が完了したらクランプを締めます。



7 DJI Ronin-M Assitain App 設定

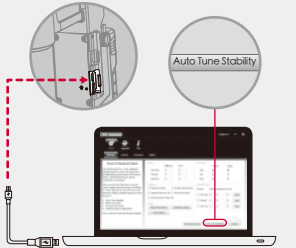
- A. カメラのバランス調整を行った後、Ronin-Mをチューニングスタンドへ載せた状態でAuto Tune Stabilityをタップします。
- B. プリーフケースモードの使用on/off を切り替えます。
- C. SmoothTrack Modeの使用on/off を切り替えます。各軸ごとに切り替えが出来ます。
- D. コントロール速度を調整します。
- E. Ronin-Mが振動した場合には、Motorページのstiffnessを減らしてください。



詳しくはユーザーマニュアルを参照ください。

8 PC/MAC アシスタントとのペアリング

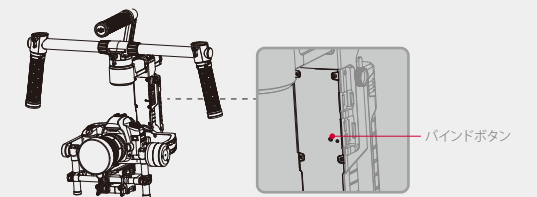
- A. Ronin-MをUSBケーブルでPCと接続し、Ronin-Mの電源を入れます。
- B. PC/MAC AssistantをDJI.comからダウンロードし、インストールします。Windowsを使用される場合は、先にWidnowsDriverをインストールしておいてください。
- C. Auto Tune Stabilityボタンを押します。
- D. もしRonin-Mが振動した場合、motor stiffnessを減らします。
- E. プリーフケースモードとSmoothTrack のon/offを切り替えます。必要に応じてコントロール速度をちょうせいします。



DJI Assistant appとDJI PC/MAC Assistantのチューニングは同様の物となります。両方で行う様ようはありません。
DJI Assistant appとDJI PC/MAC Assistantは同時に接続できません。

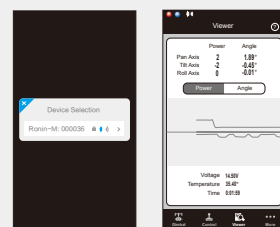
9 送信機とRonin-Mの接続

- A. Ronin-Mの電源を入れます。
B. 下図の場所のバインドボタンを押します。
C. 送信機の電源を入れます。バインドボタンの横のLEDが緑色に点灯したらバインド成功です。
- D. 送信機のスティックを動かし、動作する事を確認します。



6 DJI Ronin-M Asistant Appとのペアリング

- A. Ronin-Mの電源を入れます。モバイル端末のBluetoothをオンにしてDJI Assistant Appを起動します。
B. Dji Asistant app内でモバイル端末をRonin-Mと接続します。
C. Appの初回使用時は、DJIアカウントを取得したe-mailアドレスでの認証が必要です。
D. Viewerページでバランスを確認します。いずれかのモーター軸のPowerが10以上の場合、再度バランス調整を行ってください。



10 送信機での操作

- A. MODE:
MODEスイッチでSmoothTrackの切り替えを行います。
ポジション1 (フリー、SmoothTrackオフ)
ポジション2 (フリー、SmoothTrackオン)
ポジション3 (ロールとパンのリセット、SmoothTrackオン)
- B. FUNCTION:
i. FUNCTIONスイッチでSmoothTrackのスピードを切り替えます。
ポジション1 (速い)
ポジション2 (普通)
ポジション4 (遅い)
ii. FUNCTIONスイッチを素早く上下に3回動かすとモーターキルの有効・無効を切り替えます。
- C. 左スティック:
左右に動かしてロール軸の制御をします。
D. 右スティック:
左右に動かしてパン軸の制御をします。
上下に動かしてチルト軸の制御をします。

